

②学習指導案

プログラム	モデルプログラムNo. 11「地域景観プランナーになろう」
単元名 (全60時間)	「カナスタグラム」 ～神奈川の観光地魅力再発見プロジェクト～
学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・場所によって地域・自然・景観のよさが異なることに気づく ・まちのよさについて、人によって見方・考え方に違いがあることを知る ・情報収集能力を身につけ、情報を効果的に伝えていく方法を工夫する ・まちのよさを活かしていくために必要なことを話し合う
学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・神奈川のまちの地理的な特徴、どこにどういった種類の建物があるか、道路や鉄道網のこと、まち並みなどの様子などを調べ、まちの特色を考える ・区役所、店舗や施設が発行しているパンフレットやWEBページを見て、まちの人々が発信しようとしていることを知り、広報活動に係ろうとする ・店舗や施設の方に取材をしたり、それらの様子を写真に撮ったりして、必要な情報を集める ・取材した内容をまとめ、パンフレットを作成する。取材先に置いてもらったり、学校WEBページ等に掲載したりする
参考資料 準備品 実施場所等	<p>(参考資料)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区役所発行のパンフレット「亀さんぽ」 ・本校130周年及び140周年記念誌 ・本校平成28年度6年3組作成フリーペーパー ・本校平成29年度6年2組作成ホームページ ・その他、各店舗、施設のWEBページ等 <p>(準備品)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレットPC ・ノートPC ・デジタルカメラ <p>(実施予定等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉 ・箱根 ・江の島 ・みなとみらい21地区

6年2組 学級通信

希望のロケット通信 第66号

発行日：7月13日（火）

クラスの総合が本格的にスタートしています！！

4月の活動計画は... 月別予定表 (6月~3月)

① 区内の有形場所
② 市の歴史 (CO2排出量)
③ JRも同様
④ 交通量調査
⑤ 交通が発展
⑥ 中電(市営電鉄)

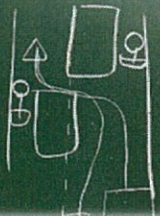
有名観光地 市内の有形場所
交通量調査
CO2排出量調査
観光的には... 交通量的には...
市内の歴史調査
神奈川県の歴史調査

区内の交通の問題
大抵来 限定的
急行都市化
車の増加
光化学スモッグ 身近!!
シルパット前外注レ
高の問題
10m以上高い同定

中電
(おはつた電車) 中電バス
市営地下鉄
エネルギー路面電車?)
1921~
1948~
1967年
1997年
3.4万人
11967人
年々利用車数
車の電車への移行?

実際にその場所に行ってみよう

- シルパット前外注レ
- バス停
- 交通量調査 (15号1号)
- 市道橋



①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	㉛	㉜	㉝	㉞	㉟	㊱	㊲	㊳	㊴	㊵	㊶	㊷	㊸	㊹	㊺	㊻	㊼	㊽	㊾	㊿
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

総合でもタブレットを活用しています

総合的な学習の時間は、教科書もなければ、決められた学習課題があるわけでもありません。自分たちでテーマを決めて、課題を設定し、問題解決しながらまだ新しい課題を探し出す。そのPDCAサイクル（課題設定→探究→問題解決→課題設定・・・）を繰り返しながら、本質に迫っていく学習です。

今はまだ計画段階なので、学習が本格的に軌道にのってくるのは夏休み後ということになりそうですが、計画や準備をしっかりと行うことで、学習に対する意欲や取り組み方も変わってくるというものです。7月残り2週間ほどですが、総合の時間も、一人一人が前向きに楽しみながら行っていきましょう！！

6年2組 学級通信

希望のロケット通信 第106号

発行日：11月19日（金）

これからの総合的な学習の時間について

景観まちづくり

交通環境学習

- ① 疑問 課題
- ② 本末を調べる
- ③ 現地に行く
- ④ 採める ⇒ 成果 (レポート発表)
- ⑤ 新たな疑問

1月
ベイスイドブルー
身近なところから調査
交通量の多い道路、少ない道路
↓
鉄道の歴史調べ

12月
みどり公園
まちの歴史(今昔)
↓
水筒 (シラネアオイ)
みどり公園
ロープウェイ

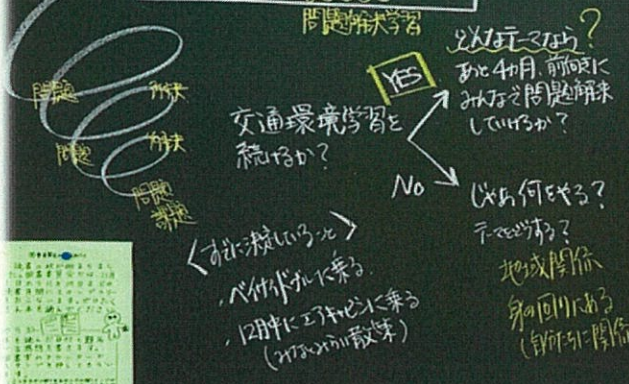
(CO2排出量?)

1月 箱根 湘ノ国
火の近の交通事情
クワガー
ロープウェイ

2月 鎌倉 観音崎の海賊調査
銀光地交差量調査

3月 手紙

これからの7次総合について



新町橋周辺
出田町交差点歩道橋の
放置問題

- ① 新町橋周辺
- ② 交差点の使用状況 道路と横断歩道の問題
- ③ トラック事故問題と 環境整備

- 新町橋はどのような? 馬車道? 必要は? 必要は? 必要は?
- ④ エコな乗り物
- ⑤ エアキャビン
- ⑥ オランダ公園前の歩道橋 花ごけ?



今後の総合の時間の計画を立てました。今月26日のベイスイドブルー乗車体験をはじめとして、来月にはみなとみらいを散策し、エアーキャビン（ロープウェイ）に乗る計画を考えています。これらは、交通環境学習の一環として、エコな車や鉄道などの調べ学習をかねています。

この他にも、地域の交通環境についての調べ学習も計画しており、出田町交差点やオランダ公園横の歩道橋、シャルプラットのトンネルなどについても調査していく予定です。自分たちのまちの交通問題について考えていくことを通して、このまちをさらによく知り、まちに対する愛着が深まっていくといいなと思います。

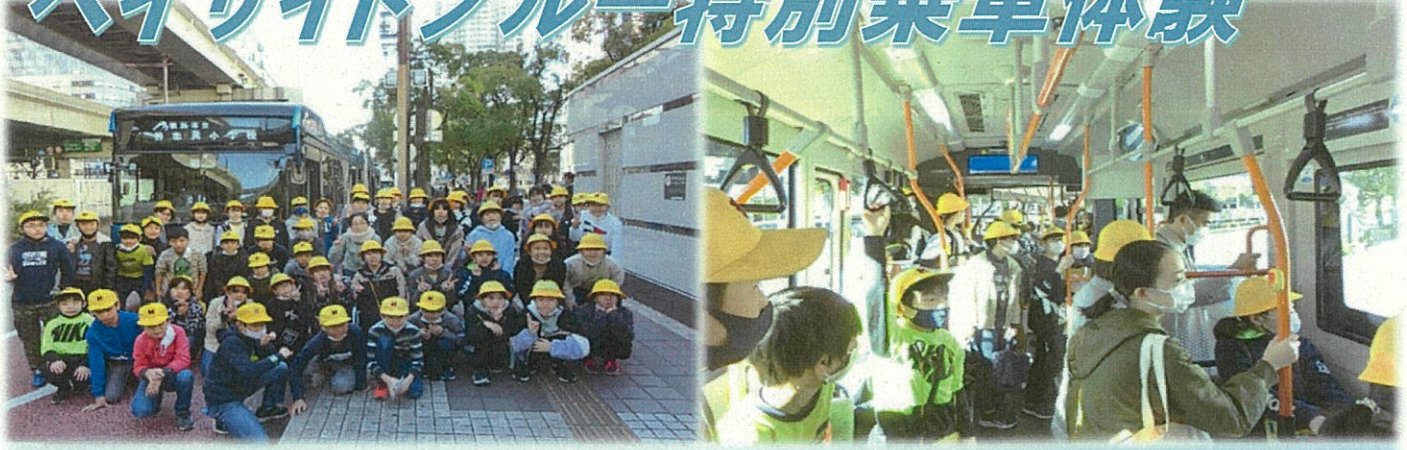


6年2組 学級通信

希望のロケット通信 第119号

発行日：12月10日（金）

バイサイドブルー特別乗車体験



バイサイドブルー乗車体験では、バス乗車を通してみなとみらいの観光や交通事情を学んだり、交通局の方の工夫や環境に配慮した乗り物について知ったりしました。来週のエアキャビン乗車体験&みなとみらい交通調査も、学びのある内容にしていきましょう。

6年2組 学級通信

希望のロケット通信 第122号

発行日：12月15日（水）

みなとみらい交通調査&エアキャビン乗車体験



2組の総合では、横浜市や神奈川県内の交通や観光をテーマに学習を進めています。今回の校外学習では、横浜市が誇る一大観光地であるみなとみらい地区に出かけました。2021年に運航を開始した都市型ロープウェイ「エアキャビン」に乗車したり、グループごとに課題を設定して交通調査をしたりしました。活動後、お話を聞かせていただいたエアキャビン所長の船田さんから、「小学生がエアキャビンに興味をもってくれたり、実際に乗りに来てくれたりしてうれしい。みなとみらいの観光がもっと盛り上がるように、一緒にがんばっていきましょう！」とお声かけいただきました。今後さらに視野を広げて、いろいろな場所の観光や交通の秘密を探っていきましょう。

6年2組 学級通信

希望のロケット通信 第123号

発行日：12月16日（木）

これまでの総合のまとめと1月からの活動について

バイサイドブルーについて

2車両連結バス
14-3カラーブルー

113人乗り（乗降は30分）
2020年7月23日～

2つの連結

特別に高い天井

観光地～観光地

(車いすバスへの乗降)

一度に乗り降りできる

手あり

対面式のイス

全長18m

毎日おびせす車内

降り口がバス戸
カギあり

<エコ>

CO2排出量が少?

2車両分のエネルギーは不要

バイサイド

<バイパー>

段差が大きい、低い、段差低い?

バスの中に点字か?

アナウンスの言語

<役割>

観光客の手助け

観光案内情報発信



バイサイドブルーもエアキャビンも、観光をメインに考えた乗り物です

バイパー構造

いすおけい可能(バスカー車体)

ホーム～キャビン 段差は

海の上を走る

後部2階分 → 2-3階に縮小

夜光するカラーLED

換気システム

ゴンドラ 31機

一番高い=340m

巧み心のホリがある

白?黒?

1260m(片道630m×5分)

桜木町～運河パーク

0.13kg/km



交通手段の観光目的? 1000円

充電地 馬場充電 (電気が少→エコ)

8人乗り

近将来的

もっと長距離はいいの?

木更水曜 12月4~13日

テストなど

ロミ (桜木町駅)

桜木町相対面

景観が壊れる

空の写真の似せ!

みなとみらい地区の調査報告

<バスターム>

バスの量的にはみなとみらい①?

今後資料を検討

本番は見た

バイサイドブルー今既見た!

<歩行者・自転車>

自転車専用道路

歩道は別 歩道と自転車は別

歩道は別 歩道と自転車は別

歩道は別 歩道と自転車は別

歩道は別 歩道と自転車は別

歩道は別 歩道と自転車は別

歩道は別 歩道と自転車は別

歩道は別 歩道と自転車は別

歩道は別 歩道と自転車は別

歩道は別 歩道と自転車は別

歩道は別 歩道と自転車は別

歩道は別 歩道と自転車は別

歩道は別 歩道と自転車は別

歩道は別 歩道と自転車は別

歩道は別 歩道と自転車は別

歩道は別 歩道と自転車は別

歩道は別 歩道と自転車は別

歩道は別 歩道と自転車は別

<車交通対策>

看板「のろせおれおれ」

バスの進行

交通安全教室

信号機 → 交通量が多いから?

どのまち一緒

これまで2組の総合では、交通をメインに学習を進めてきました。振り返りの中で、交通に関しては「どこのまちでも大体同じ」と気づきました。これはその通りだと思います。どこのまちでも、人の命や安全を守るために交通の工夫がされていることは当たり前だからです。もちろん、横浜駅や東神奈川駅のような大きなターミナル駅や、みなとみらいのように人がたくさん集まる場所であれば、より多くの工夫は必要だと思います。しかし、その内容に大差はありません。そのことに気づいた今、交通の工夫に焦点をあてるのではなく、別の角度から学習を進めていってもいいだろうと話し合いました。今後は、当初学習のテーマに考えていた「横浜市や神奈川県の子のまちの魅力」「観光の特徴」などに焦点をあてていこうと思います。詳しい内容は、今後また話し合います。もちろん、自分たちのまちの交通環境調査は引き続き行っていきますから、その点はしっかり進めていきたいと思います。



6年2組 学級通信

希望のロケット通信 第128号

発行日：12月23日（木）

総合の様子 ~かながわのまち交通調査~



神奈川のまちの交通調査の様子です。普段見慣れた場所ですが、改めて見つめ直してみるといろいろな発見があるものです。今回は昼過ぎの時間帯でしたが、「朝の通勤時間帯はもっと道路も歩道橋も混みあっているかもしれない」と、早速次の活動の課題が見えてきたようです。今回見つけたこと、考えたことをもとに新たな課題を設定し、これからの学習も盛り上げていきましょう。



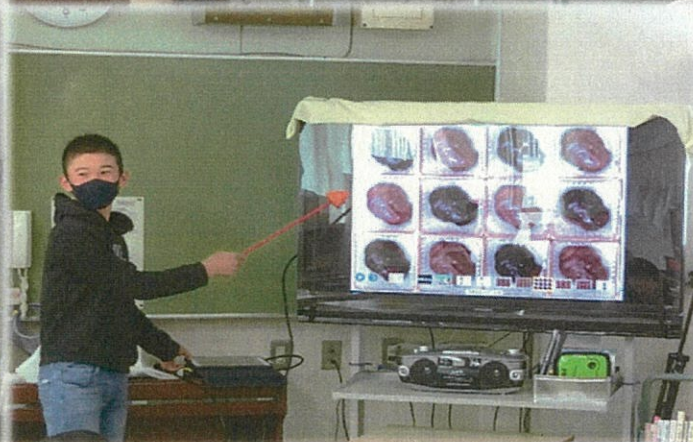
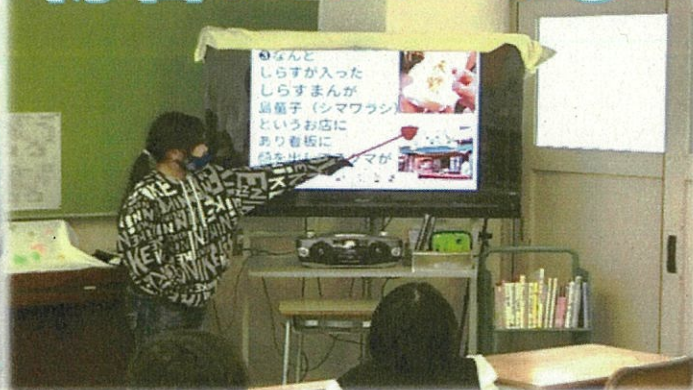
6年2組 学級通信

希望のロケット通信 第136号

発行日：1月18日（火）



残り3か月のクラス総合について②



鎌倉や江ノ島についての調べ学習を始めました。有名な場所や特産品についての情報を集めています。自分が観光者としてそのまちを訪れるとしたら、またツアープランナーとしてそのまちのおすすめを紹介するとしたら、といった視点で考えています。まん延防止措置が出されるということで、学習の方向性としては不透明な状態ですが、今自分たちにできることをしっかりとやっていこうと考えています。引き続き、今できる一番いい学習になるように取り組んでいきましょう！！

6年2組 学級通信

希望のロケット通信 第145号

発行日：2月16日（水）

総合「江ノ島・鎌倉校外学習」の計画を立てています



まん延防止措置期間ではありますが、感染症対策をしっかりと行い、なんとか「江ノ島・鎌倉校外学習」を実施しようと計画を進めています。今回はできる限り密集を避けることを考え、グループでの活動を基本としました。昼食時のみ江ノ島にみんなで集合しますが、その時間以外はほぼグループ活動です。この活動を成功させるためには、事前の計画や準備がとても大切です。また、当日付き添ってくださるボランティアのお家の方の協力あっての活動ということも忘れないでください。みなさんの活動を支えてくれる人、支援してくれる人への感謝の気持ちをもって残りの活動にも取り組みましょう。



6年2組 学級通信

希望のロケット通信 151号

発行日：2月28日（月）

クラス総合「江ノ島・鎌倉校外学習」



一年間の総合のまとめとして、江ノ島と鎌倉の校外学習に行ってきました。天気もよく、富士山までばっちり見渡せる最高のコンディションの中、各グループで立てた計画ごとに、景観やまちづくり、観光、交通などの視点をもとに学習してきました。今回の校外学習では、**鹿目さん、坂脇さん、佐藤えりなさん、芳野さん、渡部さん**のお母様にボランティアとして同行していただきました。また、昼食や交通費の準備等、お家の方々にたくさんのご協力をいただきました。明日から3月、卒業までもう間もなくという時期に入ります。支えてくれている人への感謝の気持ちを忘れず、一日一日を大切に過ごしていきましょう。

③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <ul style="list-style-type: none">・観光地の史跡や名所、景観にすぐれたところなど、行政や観光センター発刊のパンフレット等でもおすすめとされている箇所については、最初におさえることとした。その上で、子どもたちの目線で取材、紹介したいところに注目できるように考えた。・デジタル機器の使用や情報モラル指導について徹底した。観光地のまち全体を取材対象とするにあたり、不特定多数の方の了解を得ないといけないことも考えられたので、事前の取材申し込みの段階で確認がとれるよう、児童にも指導を徹底した。・取材や編集、PR活動は年間を通して同じ流れで行っていくようにした。PDCA サイクルで行っていくことにより、活動を経ることでよりよい成果物や、幅広い視点で取材活動を行えるようになった。・本活動を行っていく中で、パンフレットやWEBページだけでなく、実際に何かイベントを行うことはできないかという発想が出せるところをめざした。その際には、対象者（学校の同学年・下学年、一般の観光客、地元の人々等）、対象のニーズ（興味をもってくれそうなものはなにか、その場所の魅力を満喫できる活動は何か等）、地域への貢献（その場所の問題解決のためになにか支援できることはないか）など、企画における具体的にポイントを考えられるようにした。
<p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <ul style="list-style-type: none">・コロナ禍における活動の難しさが第一にあげられる。観覧を予定していた博物館等が閉鎖や人数制限があったり、講師として出前授業を予定した方が来られなくなったりと、活動自体が停滞することがあった。・観光をテーマにしている関係から、飲食を伴う取材もあったが、感染症対策を徹底した上でも行うことに賛否があった。・同じ時間に複数の取材を同時進行で行うので児童管理が難しく、保護者ボランティアなど人員の確保に苦労した。また、児童にゆだねる時間が多く、活動内容に差が見られた。・取材先や公共施設での見学マナー等、児童が未経験のことやこれまでの指導が十分でないこともあり、ご指摘をいただくこともあった。 (活動に関わっていただいた方には、おおむね好評をいただいた)
<p>(3) 児童の反応 別紙学級通信参照</p>
<p>(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化</p> <ul style="list-style-type: none">・県内や市内の有名観光地について、名前だけは知っていたが実態を知らないことがたくさんあった。いろいろと魅力的な店や施設、景観などがあることが分かり、またその場所が多くの人々の願いや思いによって形作られていることに気づいた。・児童の取材活動には、担当外の職員にも引率等で関わってもらった。経験の浅い職員にとっては、まちの方とともに学習を創り上げるよさを知るよい経験となった。地域型学習やESDのモデルプランとしても、よい提案ができた。
<p>(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕</p> <ul style="list-style-type: none">・本活動は、県内の様々な観光地を学習の対象としていたので、移動時間がかかったり、何度も足を運ぶことが難しかったりすることが課題である。PDCAサイクルで学習を進めて行くためには繰り返し現地を訪れたり、その都度話を聞かせてもらったりする必要があり、地理的・距離的な課題は解決していかなければならない。・取材中の情報モラルや公共マナーについては、息の長い指導が必要であると感じた。